

様式C (住宅ローン減税用：控除期間13年間の特例措置の適用に関する申告書兼証明書)

<契約事業者において作成の上、申告者にお渡しください>

所轄の税務署の名称を記載下さい。

入居時期に関する申告書兼証明書

契約事業者が作成する場合
※作成の上、申告者にお渡し下さい。

〇〇税務署長 殿

住宅ローン減税の適用を受ける方の氏名を記入して下さい。

入居 太郎

新築

取得

増改築等

しましたが、新型コロナウイルス感染症及びその

まん延防止のための措置の影響を受け、下記2の事情により、当該家屋を令和2年12月31日までに居住の用に供することができませんでした。

所在地、種類、総(床)面積は、家屋の登記事項証明書に記載された内容を転記して下さい。マンションの場合は、専有部分の床面積を記入して下さい。

1. 新築又は取得若しくは増改築等をした家屋(※1)

所在地 : 東京都千代田区〇〇〇

種類 : 居宅

総(床)面積 : 75.89㎡

2. 新型コロナウイルス感染症及びそのまん延防止のための措置の影響を受け、住宅用の家屋の新築又は取得若しくは増改築等後、令和2年12月31日までに居住の用に供することができなかった事情(該当する□にレ印を入れてください。複数回答可)

外出自粛や事業者の営業自粛等により、契約手続きが遅延したため

住宅設備機器の納入遅れや事業者の工事自粛等により、工事が遅延したため

工事完了後又は引渡し後、外出自粛等により、入居が遅延したため

その他(下記に事情の詳細を記述してください。)

1つしか該当しない場合でも特例の対象となります。いずれの選択肢にも当てはまらない場合は、新型コロナウイルス感染症やそのまん延防止のための措置の影響により入居が遅れた事情をなるべく詳細に記載してください。

3. 工事完了の年月日又は当該家屋の引渡しの年月日及び居住開始の予定年月日等(令和3年12月31日までに居住開始をしている必要があります。)

工事完了の年月日又は当該家屋の引渡しの年月日 : 令和 2年 12月 1日

居住開始の予定年月日(契約事業者が記入) : 令和 3年 2月 1日

実際に居住開始をした年月日(申告者が記入) : 令和 3年 2月 5日

実際に工事が完了した日付又は実際に当該家屋の引渡しが行われた日付を記載下さい。(いずれの日付でも構いません。)

後日申告者にて記入して下さい。

上記の内容について証明します。なお、実際に居住開始をした年月日は、後日申告者が記入します。

契約事業者 令和 2年 〇月 〇日 住所 東京都千代田区〇〇〇 TEL: xx-xxxxx-xxxxx

記名押印でも差支えございません。

氏名又は名称 転入 次郎

印(※2)(※3)

※契約事業者の署名捺印がない場合には、申告者が署名捺印を行います。

上記の内容に相違ないことを約します。

申告者 令和 年 月 日 住所

氏名

印